

「温故知新」の精神で新しい商品を生み出し、 地元と共に発展していきたい



日向 靖成 株式会社奥田又右衛門膏本舗 代表取締役

当社は地元だけでなく、全国的にも知名度がある「下呂膏」の製造を主な事業としています。その歴史は古く、接骨医であった五世奥田又右衛門が門外不出の秘薬を多くの患者から懇望されたことをきっかけに、膏薬として広めたのが始まりです。膏薬とは古くからある貼り薬で、湿布薬ができる以前は貼り薬といえば膏薬しかありませんでした。当社の「下呂膏」は非常に多くの方から選んで頂き、これまで累計3億枚を販売してきました。

しかし、長年下呂膏の製造事業のみを実施してきた当社も、時代の変化に対応した新商品を開発する必要性を感じ、下呂膏製造で培った技術を活かした医薬部外品の開発に乗り出しました。新規で開発した商品の一つである「下呂膏物語なごみしーと」は「OMOTENASHI Selection」で2年連続金賞を受賞することができました。

今では、医薬部外品のみならず、地元特産品に特化した化粧品を開発・販売し、清流の国 飛騨路下呂温泉の魅力と伝統技術を国内外へ発信しています。これからも新たなPR商品を作り続け、地元の活性化と共に多くの皆様に当社の商品を届けていきます。

株式会社 奥田又右衛門膏本舗

会社概要

〒509-2201 岐阜県下呂市東上田552-1
TEL.0576-25-4781 FAX.0576-25-2220

業 種 医薬品、入浴剤等製造 設 立 昭和47年12月 資 本 金 2,100万円 従業員数 8人

事業内容 生薬系医薬品、医薬部外品、化粧品等製造

URL <http://www.geroko.co.jp/>

E-Mail otoiwase@geroko.co.jp

事業計画名

革新的サービス(小規模型) 設備投資

地元の特産物を活かした小ロットの化粧品製造のための機械設備

①課題

- 化粧品等の生産体制構築
- 真空下での混合・乳化
- 気泡を入れないラベル貼付による小ロット対応
- ボトル状製品の開封・改ざん防止

②取組

- 真空攪拌機の導入
- ラベラーの導入
- シュリンク包装機の導入
- 化粧品の新商品試作・開発

③成果

- 品質基準を満たす攪拌技術の確立
- 透明ラベル貼付けによる高級感の演出
- シュリンク包装による開封改ざん防止の実現
- 小ロットの化粧品製造体制の確立

取組への経緯

昨今のドラッグストアの台頭により当社の主力商品である下呂膏の販売量は伸びた一方で、単価が下落し、以前より取引のあった小規模薬局が廃業するなど、当社を取り巻く環境は厳しいものとなっていた。このような環境下で新商品を開発・販売していく必要性を感じていたが、医薬品開発には多くの時間と資金が必要であり難しいため、医薬部外品や非医薬品での収益増強が不可欠と考えた。

しかし、当社には医薬部外品を製造するための機械設備がなく、製品開発の技術を有しながらも、商品化することができないことが課題となっていた。そこで、お土産店や観光客から寄せられていた「温泉水を使った商品が欲しい」という声に応えるために開発した「温泉水を使った化粧水」と「温泉水が入った玉石けん」の小ロット生産を可能にする機械設備を導入し、商品生産体制の構築を図った。

今回の取組みで医薬部外品や非医薬品の生産体制を構築し、当社の技術を生かした地域の特産品となる商品を販売していくことで、地場産業の活性化を目指す。



今回導入した真空攪拌機「アチホモミクスサー」

事業概要

本事業では、化粧品を小ロット生産するために必要となる真空攪拌機、ラベラー、シュリンク包装機を導入し、試作品の製造及び検証を行った。

真空攪拌機では、玉せっけん10個と化粧水10本のテスト加工・試作を行った。化粧品原料を真空混合機に投入後に真空攪拌し、非真空下と比較した場合の原材料の均一性、攪拌時間、温度管理を検証。完成品を品質評価基準に則り評価した。

ラベラーでは、異なるサイズの化粧品ボトルを用いて、機械貼りしたラベルと手貼りのラベルを目視にて比較し、仕上がりを評価した。

シュリンク包装機では、化粧品ボトルと化粧箱にシュリンク包装し、改ざん防止に適合するか目視による確認を行った。

これらの機械設備を使用し、化粧品の小ロット生産体制を構築することで、下呂膏以外の収益源を確保すると同時に地域の活性化に貢献する。



シュリンク包装機によりボトルの開封・改ざん防止が可能となった



今回導入したラベラー。既存品の品質より高い成果が得られた。

取組成果活用状況

真空攪拌機の導入により、玉せっけんでは外注先と同じレベルでの攪拌時間、温度管理を実現した。既存品と同等の品質管理基準を満たし、内製化することができた。化粧水では攪拌時間を従来の10分から5分へと半分に短縮することに成功し、品質面でも社内品質基準も満たすことができた。また、ラベラーを活用することで、これまでの使用することができなかった透明ラベルを機械貼り付けすることが可能となり、高級感の演出による商品価値向上に繋がった。シュリンク包装機の導入では、ボトル及び化粧箱へのシュリンク包装が可能となり、開封・改ざん防止が可能となった。

本事業により化粧品等の小ロット生産体制が整った。土産物は多様化しており、従来の菓子や民芸品だけでなく化粧品等の

コスメ商品を求める観光客も増えている。この要望に応えるため、新たに専用Webサイトを立ち上げ、当社が開発した化粧品を販売できる場を用意した。このサイトでは「楊貴肌 玉せっけん」や「薬用化粧水 楊貴肌」など本事業で生産体制を構築した新商品も販売している。生産の内製化が可能となったことで、小売店や卸売業者からのニーズを直接反映し、販売業者の名前を入れたOEM商品やオリジナル商品、ノベルティー製作など、事業の幅を広げている。

今回の成果を活かし、今後も積極的なPR活動を行っていくと同時に、近隣の事業者や観光客が抱える潜在的なニーズを反映した商品を開発・販売することで事業を拡大し、地域の活性化に貢献していきたい。